

東南アジアの自然と農業研究会

第 107 回研究例会のご案内

第 107 回定例研究会を開催いたします。今回は、筑波大学大学院 地球科学研究科の横山 智 氏に下記のように報告していただきます。皆様の多数のご参加と活発な討論を期待してお待ちしております。

記

日 時： 2002 年 12 月 20 日 (金) 午後 4 時 ~ 午後 6 時
会 場： 東南アジア研究センター 東棟 2 階第 1 教室
京都市左京区吉田下阿達町 46
川端通り荒神橋東詰め
話題提供者： 横山 智 氏
話 題： 「ラオス北部山岳地域の存立基盤」

要 旨： ラオスは、国土の 70% を占める山岳地域に 80% の人口が居住している。山岳地域に立地する半数以上の村落は、何時間も歩かなければ道路へアクセスできない「陸の孤島」状態に置かれている。そのような山岳地域にも市場経済化の波が押し寄せ、「お金」が重要な意味を持つようになった。

しかし、これまでラオス山岳地域の経済活動は、農業、林業、土地利用などの断片でしか明らかにされていない。そこで、本研究では、ラオス北部山岳地域のルアンパバーン県ゴイ郡ウー川流域を一つの空間単位として、民族の差異、村落立地位置の違いを考慮し、農林産物の採集・生産活動から、それらの仲介、そして産物の流通までを総合的に明らかにすることを目的とした。そして、最終的には、ラオス山岳地域村落がどのように維持されているのか、存立基盤の構造を提示し、また将来的に起こりうる問題点に関しても触れる。

問い合わせ先： 富田晋介 京都大学農学研究科熱帯農業生態学研究室
Tel. 075-753-6352 <mailto:tomita@kais.kyoto-u.ac.jp>
柳澤雅之 京都大学東南アジア研究センター
Tel. 075-753-7345 <mailto:masa@cseas.kyoto-u.ac.jp>

ホームページ： <http://rtomita.kais.kyoto-u.ac.jp/~sizen/>